



あかし

明石 あおい

(株)ワールドリー・デザイン 代表

京都 4

1976年京都府生まれ。

「葵祭」の日に未熟児で世の中に出てくる。

富山 14

1981年、父の地元・富山市に移住。

針原小→北部中→呉羽高校と富山で育つ。

東京 15

1995年、進学で上京。早稲田一文卒業後、地域づくりのコンサルタントとして全国のまちづくりに携わる。

富山 14+

2010年にUターンし「富山県定住コンシェルジュ」に。
翌年「ワールドリー・デザイン」を創業。





とやまの日常を毎日Blogで紹介!

富山県定住コンシェルジュのブログ 2010.6.7~

日々の生活の中にある富山の素晴らしさや面白さを、Uターンしたでの「よそ者の視点」で発信。個人的な観点やライブ感を大切に「いきいきとした口コミ情報」を提供。アクセスは、1日平均約1,500PV(ページビュー)。1日500~1,000人が閲覧している(UU=ユニークユーザー数による)。1日で5,000PV(ページビュー)を記録することもある。

アクセス解析

無料解析ツールのため、あくまでも目安。





富山県定住コンシェルジュのブログ 月ごとの人気記事

PV(プレビュー)の多かった記事をご紹介します。

6月 中干しってなに？

大きな垂れ幕に書いてあったメッセージ



富山県農協会館に見慣れぬ言葉を見、「地域ぐるみで中干しの徹底を!」とある。農家の方には普通のことかもしれないけれど、農家でない人たちも見えるところに掲げられたメッセージ。「過剰な稲数の防止や生育後半までの稲体の活力維持のため」にやるのが中干しらしい。部屋干しとは訳が違う。(2010-06-09/富山市)



【その他の人気記事】
・絶品!「とりラーメン」(写真左)
・創業75年のアイス屋さん(写真右)
・適度に放置が心地いい、喫茶店
・【雑言その4】ケの情報を倍々に!

7月 このケーキにはまいった!

久しぶりに出会えたおいしいシフォン



フォークを入れる時のすずい弾力!!歯触りのしっとり感。久しぶりにこんなおいしいシフォンを食べた♪あまりにうまいと感動していたら「シフォンケーキはちょっと自信があります♪」と謙遜げみに神代さん。旬の材料で作るシフォンは試す価値、大アリ。(2010-07-17/氷見市)



【その他の人気記事】
・石動駅前ランチ地(写真左)
・生地が特徴的なピッツェリア
・シクロシティ、空きラックなし!
(写真右)

8月 花と緑のレベルが高いまち

チューリップ以外の時期も花でいっぱい



駅前ロータリーに花を置くのはよく見かけるが、砺波のものは寄せ植え技術が高いように感じる。市民が自腹で参加する、花壇やプランターの寄せ植えコンテストはプロ並みの出来。(2010-08-02/砺波市)



【その他の人気記事】
・女子に大人気の「ん屋さん」(写真左)
・ノーズ袋の徹底ぶり(写真右)

9月 越中富山ふるさとチャレンジ

学んで訪ねてふるさと博士!



富山の自然、歴史、地理、文化など、幅広い分野の知識が問われる検定。今からシクロシティを駆使して、スタンプ20コ集めてきます。(2010-09-14/富山市)



【その他の人気記事】
・あう、あう、あう、あう、あう(写真左)
・♪空耳アワーな一枚(写真右)

10月 いたち川でEポート

誰でも乗船OKのプチ・川下り



いつも見ている風景も、水辺からだとなんか違う見え方。10月の連休、富山市内を流れるいたち川で、Eポートを運行。その昔、富山城主・佐々成政がお城の防御のために整備したと言われるいたち川。ここで乗船会を実施。(2010-10-09/富山市)

【その他の人気記事】
・浦川市新しいPRキャラクターの審査会

11月 環水公園イルミ点灯中!!

環水公園スイートイルミネーション2010



今日から来年の2月末の約3カ月半、富山駅北が誇るオシャレ公園・環水公園が、イルミネーションで彩られる。知事さんの挨拶の後、みんなでカウントダウン。駅北のなでこ保育園児と知事さんがボタンを押して、点灯。(2010-11-19/富山市)



【その他の人気記事】
・富山の酒とかまほこフェア(写真左)
・環水公園で野外カラーコンテスト!!
(写真右)

12月 柿酢に挑戦!お料理女子会

やまだむらの柿酢の新調味料でお料理会



前日オープンの八尾駅前「AGRIひばり」を借り切って、新発売の「やまだむらの柿酢シリーズ」5種類を使ったお料理会を実施。サラダから奇跡のデザートまで12品を完成させ試食。(2010-12-13/富山市)

これは意外!フグとヒラメの養殖

近畿大学の水産研究所と連携、堀岡養殖漁業協同組合



古くから沿岸漁業が盛んだった堀岡地区は、平成6年から近大水産研究所と連携し養殖事業を行っている。(2010-10-12/射水市)



【その他の人気記事】
・富山のお雑煮コレクション<予告>
・金曜日限定の崖上惣菜屋(写真左)
・富山県民手帳の新しい使い方
(写真右)

1月 富山のお雑煮コレクション

突ゲキ!となりのお正月料理!



県内各地の関係者から、今年のお正月に食べたお雑煮の情報を集めて紹介。餅の形、餅を焼くかどうか、出汁の取り方、具も様々な28種類が集まった。(2011-01-02~)



【その他の人気記事】
・No.001ウチの実家のお雑煮(写真左)
・素材丁寧に生かすイタリアン(写真右)

2月 富山のゆるキャラ大集合!

ゆるキャラ9体(人?)が東京・青山に集結



ゆるキャラ9人が東京・青山に集結してくれました〜!高岡市の利長くん、砺波市のチューリップ君、黒部市のウォー太郎、射水市のムズムズくん、小矢部市のメルギューくん、南砺市のNANTOくん、入善町のスイカマン、日の出屋製菓の柿兵衛、富山県からきときと君。ぎゅうぎゅうです。(2011-02-27/東京・青山)



【その他の人気記事】
・1kg=1000gじゃないの?(写真左)
・挑戦しつづけるデザイナー、島津勝弘さん(写真右)
・このケーキにはまいった!

【人気記事から見えてくる、閲覧者のニーズ】

- ①お店の情報やイベント情報を知りたい。
飲食店情報は根強い。旬の情報は短期間でアクセスが伸びる。
- ②自分のまちと他のまちを比べたい。
網羅的に紹介された「お雑煮」「ゆるキャラ」は人気が高い。
- ③「ふと思った」小ネタで共感したい。
「中干し」「おもしろい検査」などはコンスタントにアクセスあり。



Uターンって 意外と大変だ。

2010年5月、東京23区から富山市内へ、夫と2人で
Uターンした定住コンシェルジュの実体験をご紹介します。
(定住コンシェルジュのプロフィールは裏表紙を参照)

※すべての人がこれに該当する訳ではありません。



| 定住コンシェルジュ | 定住コンシェルジュ | 定住コンシェルジュ |

住居のこと

移住と同時に 一戸建ては買わない

自治体の住居の支援策で多いのは、「住宅取得」「宅地購入」などですが、移住と同じタイミングで、一生モノの買い物(=家を買う)をしようとは思いませんでした。とにかく、早く住む所が欲しいのだけだと、実家には住みたくなかった私。

▶ 雑言2：賃貸住宅の支援をあつくり！ (21~22ページ)

信頼できる不動産屋が 効率よい物件探しの鍵

どんなに早く手続きのできる賃貸物件でも、1.不動産屋さんを探し、2.物件の下見をし、3.気に入った物件が見つかったから、4.契約。その後、引越しの準備となります。私は効率よく進められ方だと思いましたが、それでも2回(1泊2日/1回)の下見が必要でした。共働き&休日調整しながら、家が決まるまでに2ヶ月を要しました。不動産屋さんに要望を細かく伝え、新規物件はEメール等で連絡いただきました。

▶ 信頼できる不動産屋さん選びに時間をかけた方が◎。要望を細かく伝えておくことで、効率よい物件探しができます。

「空き家バンク」は、 雰囲気チェックのみ

県内のほとんどの自治体が「空き家バンク」を整備しているというのは素晴らしいこと。でも、最初から空き家を探す方は、「田舎暮らし」を満喫したい、かなり玄人な移住者。私の場合、ほぼ100%賃貸物件のない「空き家バンク」は、まちな雰囲気を感じるために、ちらっと見た程度。



| JR清川駅のホーム | 青々とした草の向こうに見えるのは「地鉄」のプラットホーム。



| JR水見線 | 富山湾の青と草の緑が鮮やか。

引越しのこと

公共料金の地元ルールが あとからあとから…

例えば、固定電話(NTT)の引越しは、東日本から西日本への移行手続きをすればOKかと思いきや、別会社のため、解約と新規契約が必要でした。地元のケーブルテレビは、市販のチューナー付きレコーダーとの互換性がなく、買ったばかりのブルーレイレコーダーを手放し、専用のものを新たに購入しました。水道料金については、富山に支店のない銀行では引き落としできず、今でもメインバンクとは別の銀行で支払っています。

仕事のこと

夫が起業。 新事務所をドタバタ開設

夫はUターン者。彼の起業に併せて事務所も探しました。行政の起業支援制度のおかげで、まちなかに快適なインキュベータ・オフィスを見つけることができました。その代わりに、引越し直後から公開審査の準備、プレゼン書類の作成、開設の諸手続き等、ドタバタな毎日でした。土地勘がないため、オンデマンド出力できる場所ひとつ探すのに苦労しました。

決心のこと

不便も魅力のうち。 クルマは極力使わない

長い間富山を離れていたからこそ、「地元の人が気づかないような魅力をたくさん発見し、磨き、活かして、富山を元気にしたい」と、Uターンしました。運転免許がないのを逆手に取って、徒歩・自転車・公共交通での移動を決意。乗り換えや待ち時間の不便さ、目的地までの長い道のりも富山の魅力と捉え、日々、丁寧に暮らそうと決心しました。

▶ 雑言6：覚悟を決めろ！ (22ページ)

地元の暮らしは 「広報」でつかめる

ごみの出し方、水道料金、子育て支援などが網羅的に掲載される上に毎月の行事やまちが力を入れていることまで分かっちゃう広報は、「そこに住むとどんな暮らしができるか」をイメージするのにとってもいい。美しい観光パンフレットよりも役立つ管です。

▶ 雑言1：とりあえず広報を送れ！ (21ページ)



| 秋の散雪装置(富山市) | 紅葉から落葉へ、もうすぐ雪を迎える準備が。

これからの 30代のI・J・Uとは？



大学進学とともに富山を出て
けっこうバリバリ都会で働く人たちが
「帰りがやすくなる」秘策とは？

※個人的な見解がかなり入っています。

1 30代のリターンは 「住む場所」「活動の場所」を引き払うエネルギーはとて大きい

富山→都会<都会→富山

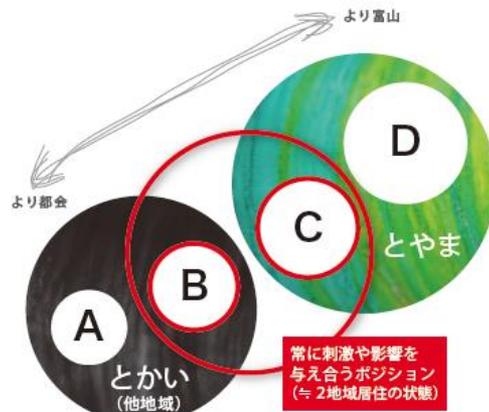
進学・就職などで富山から他地域へ出て行く場合「活動場所」が移動する。新しい「住まい」もできるが、実家はなくなり、折に触れて帰ってくるのが可能。ある意味、2地域居住の状態。身軽に新生活をスタートできる。

逆に都会から富山へ戻る場合、これまでの生活を一旦終了し、家や仕事などを引き払う必要がある。家族連れならば実家に住まず、新しい家さしをする必要もあり、さらにエネルギーを使う。また、職さがしもせねばならない。

「住まいを移す」といっても、ほぼ手ぶらで新たに始めるのと、一旦終了して新たに始めるのとでは大きく違う。



2 30代のI・J・Uターンは 「どこに住むか」よりも、「どんな活動に関わっているか」に注目



- A：とかい（他地域）に住み、とかい（他地域）で仕事・活動をする人
- B：とかい（他地域）に住み、とやまで（も）仕事・活動をする人
- C：とやまに住み、とかい（他地域）で（も）仕事・活動をする人
- D：とやまに住み、とやまで仕事・活動をする人

住む場所だけでは 見えないことがある

「移住」と言えば、まずはどこに住むかという話だが、どんな活動にどう関わるかも重要だ。富山に住んでいても東京の仕事をしていたり、東京に住んでいても富山の仕事をしていたりする場合もある。交通網が発達し、情報技術が目覚ましく進歩している昨今、全国各地に支店があるような大企業でなくても、小さな会社や個人が、富山と都会（他地域）を太いパイプでつなぐことができる。

左図のB・Cのポジションにある人は、2地域居住の状態であり、両地域間の人・もの・こと（情報）の「行き来」を活発にし、つながりを強める役割を担う。A～Dを時系列で捉えた場合、Bを「移住準備の状態」、Cを「移住直後の状態」と捉えることもできる。

3 30代のリターンは 「無理なく富山にシフト」できるのなら、そうしたい

2 地域居住中の人たちがいかに富山に関わっているかを伝える

座談会（P17参照）にもあったように、将来的に帰るところだと考えていても、今すぐに生活の拠点を移すことは難しい。そうなる、と、住まい・仕事・気持ちも少しずつ移動させていくのが理想だ。しかし、現状では、移住した後の事例ばかりが発信されているため「今の自分の生活には結びつけられない」。

上図Bのように、富山に住んでいなくても、何らかの形で富山の課題（仕事・活動）に関わり、貢献できる人がいる。Bに対してもっとも影響力を持つのはCである。AからDへの急激な変化よりも、B、Cを経て緩やかに移住していくプロセスが見えれば、よりスムーズに「富山に帰る」ことができるのではないかと。2地域居住中の人たちの、地域への関わり方や貢献の仕方を発信していくことが大切ではないだろうか。

【求める人材について】

県内の市町村担当者にヒアリングさせていただいて聞いたのは「こういう人に来てほしい」というイメージがほぼないこと。同じまちの中でも、集落によって状況は異なるでしょうし、行政がすべて把握しておくことも、網羅的な情報の中で優先順位をつけて発信するのも難しいでしょう。しかし、ひとつでもふたつでも、集落限定でもいいので、「この集落は〇〇で困ってます！解決してくれる人求む」とか「このまちの〇〇を活かしてくれる人、歓迎！」とかのメッセージがあるといいと思います。それに該当する人にはグッとくるのではないかと思います。

【情報がないから、とりあえず大きなまちに住んで…】富山市出身者が必ずしも富山市にUターンするとは限りません。富山市に住んでみて思うのは、近隣の舟橋村でも上市町でも、さほど変わらないということ。適当な賃貸住宅、使いやすいオフィス、主要な市街地（病院、学校、スーパー等）にアクセスしやすい公共交通の情報など、大まかにでも先に分かっていれば、選択肢はもっと広がったのにと感じます。



定住・移住の提言



定住コンシェルジュの実体験にもとづき、あらかじめ知っていれば、スムーズに定住できるかもしれないコツを、「提言」としてご紹介いたします。

「池田村・柳一帯の道が、よく似合う市井村。道沿いには、古くから校した小学校の赤い壁が目を惹きつけてくれる。

1 1 ともあらず 広報を送れ!

観光パンフだけ送っても 意味ありません

「あなたの地域に住みたい」という問い合わせがきて、何かを送る場合、必ず広報を数号、送ってあげてください! 移住・定住したいと思っている人が知りたいのは「その地域の生活ってどんなだろう?」ということ。

全市町村に問い合わせ、移住関係の情報を郵送してもらったことがありました。広報を入れてくださったのは数自治体で、大体は観光関係のパンフレットが沢山入っていました。他にも、力を入れている取組みの資料など、地域の魅力や愛情は伝わってくるものの、「生活」が見えない情報ばかり。水道料金はいくらなのか、子育てに関する具体的な支援はあるのか…。定住と交流、交流と観光は一緒にされがちですが、定住と観光は違うんです!

かといって、支援できることを新たにまとめるのは手間がかりすぎるので、そのまじで生活するイメージの湧く広報が最適だと思います。

2 2 賃貸住宅の 支援をあつく!

都会の生活者の多くは 賃貸で暮らしている

持ち家率が全国有数の富山県人にしてみれば、「住む」=「一戸建ての家を持つ」かもしれませんが、都会生活者の多くは賃貸で暮らしています。

30代の働き盛りは拠点を移動させるのに、非常にエネルギーがかかります(19ページ・1参照)。都内を移動する

のとは、訳が違います。それに加え、一生ものの買い物である家を、このタイミングで購入する人は少ないのではないのでしょうか。仮に空き家に住むとしても、改築は必要でしょうから、エネルギーと時間がさらにかかります。私の場合、早く住むところを見つけないという一心でした。

空き家に関する情報は、どちらかといえば、「第二の人生は田舎でゆったり」とか「こだわりライフを楽しむぞ」というような、シニア世代向けのように思います。

県内15市町村、住宅関連支援策の多くが、一戸建てに関するものです。宅地購入、住宅取得(一戸建て、分譲)空き家・空き地情報提供…。もっと賃貸物件の支援があればいいのと思います。

3 3 もっと、 そぞろ歩こう!

歩いてる人 ほとんどみかけません

何人かでまち歩きをすると、当たり前だと思っていたものが、新鮮に映ります。まちなかまで1時間くらいかけて飲みに行きつづいたのは、目的地に行くプロセスも、立派な観光だということです。

観光と定住は違うと言いましたが、共通点はあります。違うことを知り、認めあえる喜びがあるという点ではないかと思うのです。まさに地元民の日常が観光客の非日常なのです。

幸い富山には、たくさんの乗り物があり、その乗り物には日常生活が詰まっています。これは他地域の人から見ると非常に魅力的な素材。世代や居住地が違う人など、要素の違う人たちで歩けば、こういうものがわんさか見つかります。

4 4 ケの情報を 倍々に!

日々の生活を、 そのまま発信してみる

お祭りやイベントなどの「ハレ」の日、「わんさか人ごみな写真」を紹介するのもいいですが、その何倍もある「ケ」の日、「人通りの少ない商店街の風景の写真」の方が里心を誘うのではないかと思います。

少なくとも、都会から田舎に行く人は、人ごみがあまり好きではない筈。市町村で紹介している写真、「ハレ」ばかりになってませんか? ありのままを様々な角度から感じてもらう入口をつくるのが大事です。

5 5 出してもまれて から、戻せ!

旅をした方が 効率よく学べる

県からの流出人口を止めることよりも、一回荒波にもまれた人たちを、また戻すことを考えませんか。

毎年約5000人の若者が、進学・就職で富山から出るというデータがあるのですが、「いついっしょに出て行って…」と、戻らなければならないと思います。むしろ、ホクホクすべきことではないでしょうか。

出られるんなら、一度は出たほうがいい。外に出ることで富山の良さが改めて分かりますし、荒波にもまれればもまれるほど、たくましい人間になります。県外に「出さない」ことを考えるより、県外から「いかに戻って来させるか」を考えたい方がいいのでは? と思います。Uターンだけでなく、I・Jターンにも共通するでしょう。

6 6 定住・移住を希望される方へ 覚悟を決めろ!

いいことと悪いことが セットで変化する

移住によって、住む家、仕事の内容・給料、家族・友人・周囲との付き合い方、時間やお金の使い方が変わります。望んで移住してきたので、いいことはもちろんありますが、不便なこと(悪いこと)も生じます。のどかな場所であれば交通事情は良くないでしょうし、温かい人間関係は時に面倒と感じるかもしれません。

また、何らかの変化を求め、自ら動けばエネルギーがかかりますが、状況が変化しても変わらず続けたいことを維持するには、さらにエネルギーがかかります。

変化にはいいことと不都合なことが両方あることを理解し、覚悟を決めて移住に臨むことも大切です。

以上6つの提言は、私(30代・夫婦2人暮らし)の体験にもとづいた提言です。例えば、小学生くらいのお子さんのいる方や、親の介護が必要な方であれば、大切にす視点は間違いなく変わってきます。これらを鑑み、最後に提言させていただくとすれば「課題やニーズは、限りなく多様だが、少なくとも世代別でカテゴリー化してはどうか?」ということです。移住する人たちの中で多いのは、60代と30代だそうですが、その間の40代、50代が少ないのはなぜなのでしょう。…私は「自分で選ぶことを許されない世代だから」ではないかと考えます。家庭においても社会においても、自分をとりまく環境に対して責任のついでにまわる世代ではないかと。その立場から解放されたのが60代、その責任をこれから負うのが30代なのでは、と。そして世代別に「定住コンシェルジュ」がいるまちは、最強だと思います。





Worldly Design

photo&design  ambient toyama

設立 2011年6月 メンバー 13名+委託



Worldly
せけん、

Design

デザインします。

せかい



world

せけん



worldly



Worldly
Design

photo&design  ambient tokyo

Worldly【意味】世間、世俗、広い視野…
経験豊かで洗練されており、地に足がついている

Design【意味】設計、形態、意匠…
より良いあり方を求め、工夫し、かたちにすること



お仕事の領域

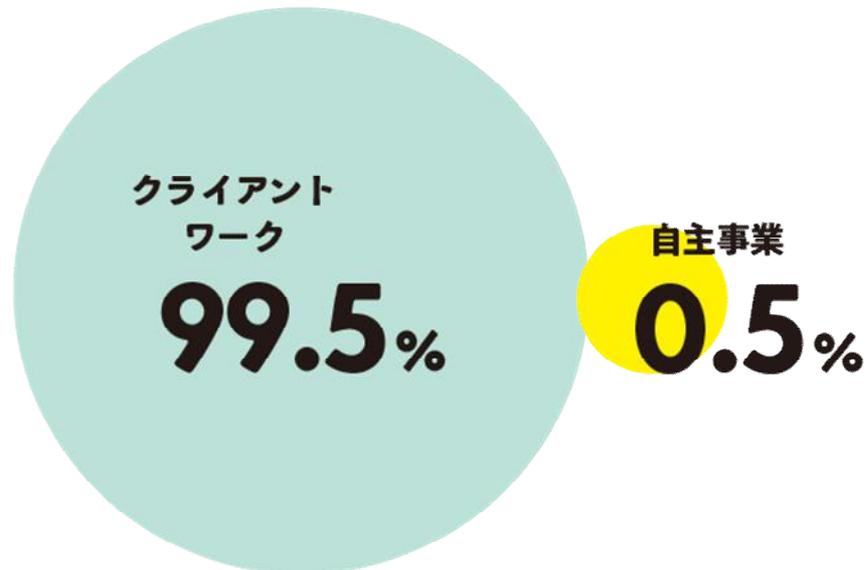
グラフィック
デザイン

編集・出版

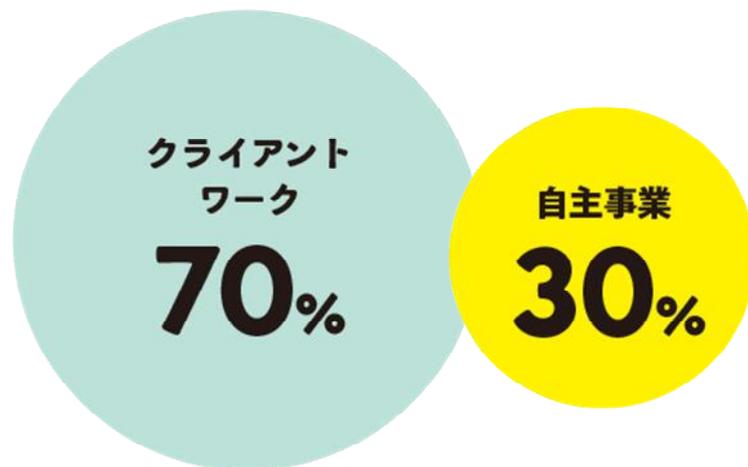
イベント
企画・運営

自主事業

売り上げ比率



かけるエネルギー



クライアントワーク

グラフィック デザイン

- 個人・店舗・企業等のロゴ・コンセプト制作
- チラシ、パンフレット、Web、動画等のデザイン・制作
- お土産・グッズなどの企画・制作

編集・出版

- 企業等の季刊誌 企画・制作
- 地元の歴史・観光冊子や全国版旅行誌の企画・制作

イベント 企画・運営

- 移住・観光関連イベント・キャンペーンの企画・運営
- 会議・ワークショップ等の企画・ファシリテーション
- 内川関連イベントの企画・運営
- 自治体・団体等の Web・SNS 企画・運用・保守

自主事業

- 自社企画による冊子の制作・販売
- イベント・展示会等の企画・運営
- 孔版印刷・ワークショップ運営 NEW
- オリジナルグッズの開発・販売

〈内川・地元ボランティア系〉

- 内川関連イベントの企画・運営
- 地元商店とのコラボ商品開発・制作
- 内川さんぼのガイド役
- 内川への移住相談対応
- 地元の空き家相談等のサポート

グラフィック デザイン

目指しているもの・心がけていること

First Decade 「ある」ものを、全力で磨いて伝える

ご近所の三河屋的デザイン事務所 +

Next Decade 印刷・紙・素材…選べるから無限に試行錯誤できる

ちょっと手間のかかる印刷工房



内川の小さな印刷工房



ふたてま舎



編集・出版 WEB

目指しているもの・心がけていること



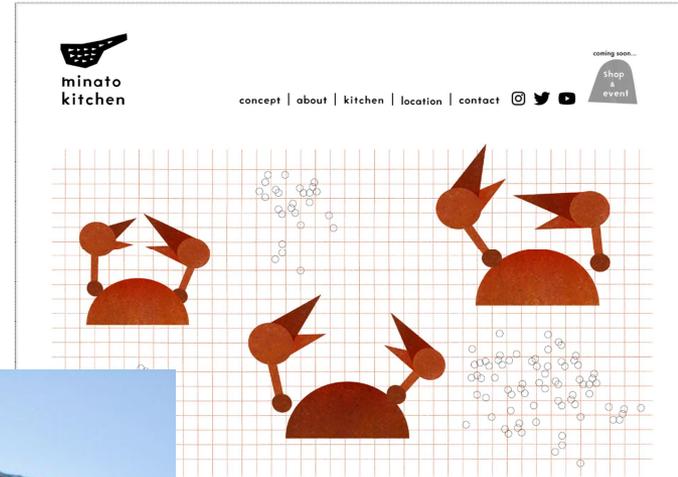
First Decade 取材・撮影からデザイン・校正まで、オーダーメイド一気通貫

一冊丸ごと企画～デザインまで

+

Next Decade 本好き・猫好き・ZINE好き・紙モノ好き…キャラクターも活かす

「好き」を活かした制作のリレー



イベント等 企画・運営

目指しているもの・心がけていること

First Decade プレタポルテではなくオートクチュール。人脈からつくる

地域の価値を再発見・再認識 +

Next Decade 欲しいものはオリジナルで作る。目的地になる場所づくり

オリジナル商品・サービス開発





ma.ba.lab. まばらぼ

試す、交わる、楽しむ場＝ラボ

- ・「疎ら」だからこそ感じられる人と人の間(＝あわい)
- ・土間やサロンスペースは、公と私が入り混じり合う場所
- ・あいまいな場で養われる、身体感覚や空気感

木匠短管業
1時間。
(不定期)







4月からは夫経営のカフェ事業を承継

友人の運営しているメディアに書いた 地方で起業することの一連の話



ローカルでの起業を考える

- ・自己紹介
- ・地方の人々が生き生きと働ける場を
- ・サービスと料金は最初から強気で行く
- ・余白がいっぱいある



ローカルで オリジナリティを発揮するには



ローカルの 資源の少なさを逆手にとる



ローカル人材の 活かし方を考える

<https://plus-health.jp>



暮らしにプラスヘルス

口腔ケアでリラックスして自律神経を整えましょう！

CATEGORY: Life

2024.2.6更新
齋藤真代



暮らしにプラスヘルス

空気の乾燥する季節は・・・

CATEGORY: Life

2023.11.21更新
齋藤真代



オトナの食育

生活習慣が整う朝ごはん！簡単おみそ汁のすすめ

CATEGORY: Food

2023.9.22更新
石黒美千子